女性活躍応援リーダーズ　リーダーズシート

株式会社新日本科学

1957年、日本初の医薬品開発業務受託機関（CRO）として鹿児島市に誕生しました。「環境、生命、人材を大切にする会社」を企業理念とし、「創薬と医療技術の向上を支援し、人類を苦痛から解放する」ことを使命に掲げるライフサイエンス企業です。
具体的には、新薬開発を製薬会社から受託するCRO（Contract Research Organization）事業、自社開発やベンチャー企業をサポートするTR（Translational Research）事業、再生可能エネルギーを扱う発電事業、ウエルビーイングを目指すホテル事業、シラスウナギ人工種苗を研究する水産事業などがあります。
「わたしも幸せ、あなたも幸せ、みんな幸せ」というスローガンのもと、「みんなが幸せに楽しく働ける会社」を目指し、常に新たな挑戦を続けています。

取組概要

1）意識改革：経営トップ自ら全職員の意識改革に取り組む（会長研修の実施、毎週の動画配信）
2）環境改善：「働くなでしこ委員会」を立ち上げ、社内託児所設立など50を超える課題を解決
3）働き方改革：ロボット導入や自動化による残業時間の削減
4）女性管理職登用：管理職要件の明確化と研修参加の手上げ制導入により、性別や国籍を問わず挑戦できる公平な登用環境を整備した結果、女性管理職比率が向上
5）健康支援：女性疾患に関するセミナー、婦人科系がん検診を実施
6）柔軟な働き方：残業しない働き方選択制、時差出勤、時短勤務、テレワーク等
7）情報発信：毎月ランチョンセッションを開催し、子育て、家事、習い事等の情報を共有

実施経緯

鹿児島では1955年をピークに人口が減少し、さらに2000年頃から若年層の県外転出超過が続いています。高校・大学卒業後、多くの男性が県外へ出ていくのに対して、女性は地元に残る割合が高いことから、1990年代以降、鹿児島に残る優秀な女性採用に力を入れてきました。
その結果、女性採用は順調に増えたものの、結婚・出産を機に退職するという課題が新たに浮き彫りになりました。高いスキルを習得し、貴重な戦力として活躍していた女性社員を失うことは、企業存続リスクであると認識し、女性が定年まで活躍できる組織作りを重要な経営戦略として位置づけました。そこで、女性社員だけで構成する「なでしこ委員会」発足を始め、さまざまな施策を一気に実行してきました。その一環として事業所併設託児所を2007年に設置しました。この託児所設置で仕事と家庭の両立支援に本気で取り組むトップの強い想いが社員に届いたと考えています。

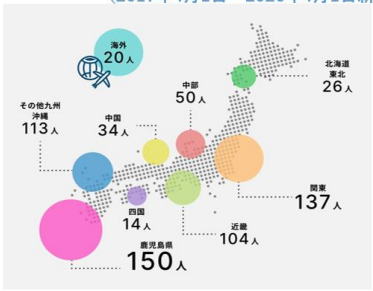
取組の効果など

取組成果

項目	2007年	2025年
女性の婚姻･出産理由の退職	38.5%	改善 0%
従業員数における女性割合	48.6%	↑ 55.0%
女性の採用比率	48.6%	↑ 62.7%
女性の管理職比率	7.3%	↑ 23.7%
女性の係長比率（管理職手前の役職）	10%未満	↑ 49.4%
マネジメント研修への女性参加率	14.3%	↑ 45.8%
Study Directorの女性比率	12.1%	↑ 37.3%
男性の育児休暇取得率	0%	改善 100%

新卒出身地

（2017年4月1日～2026年4月1日新卒入社）



県外からの応募が増加
70%は県外から！



外部からの評価

2018年



内閣府主催「女性が輝く先進企業表彰」
内閣総理大臣表彰

2022年、2026年
経産省、東京証券取引所認定
なでしこ銘柄

2023年
厚労省
プラチナえるぼし

2024年
厚労省
プラチナくるみんプラス

2017年～2026年
経産省
健康経営優良法人ホワイト500

今後の方向性

女性管理職をさらに増やし、男女共に仕事と子育てを両立できる環境を整備する。
目標① 管理職に占める女性の割合を 30%以上にする
目標② 女性の育児休業取得率 100%、男性の育児休業取得率 100%を継続する